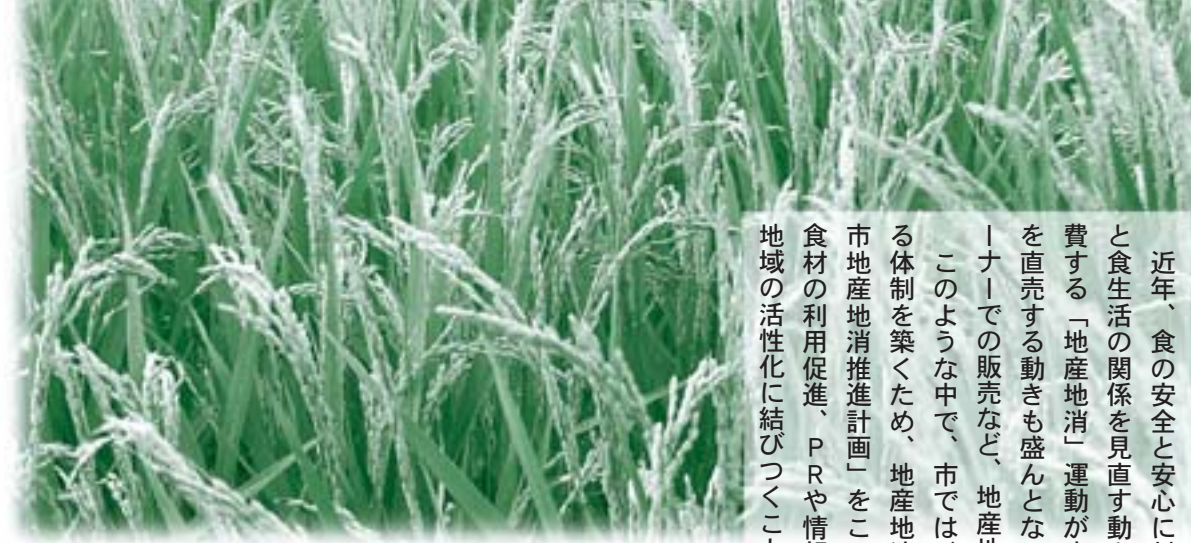


# 「市民誰もが恩恵を受けられることが一番大切」

「能代市地産地消推進計画をお知らせします」

近年、食の安全と安心に対する消費者の関心が高まるとともに、健康と食生活の関係を見直す動きなどから、地域で生産したものを地域で消費する「地産地消」運動が広がりを見せています。また、地元で農産物を直売する動きも盛んとなっていて、直売所や量販店の地場産農産物コーナーでの販売など、地産地消の動きも活発化してきています。

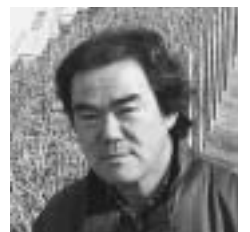
このような中で、市では、市民の誰もがその恩恵を受けることができ、体制を築くため、地産地消推進の今後の方向性を明らかにする「能代市地産地消推進計画」をこのほど策定しました。この計画を柱に、地元食材の利用促進、PRや情報提供を行うとともに、これらの取り組みが地域の活性化に結びつくことを目指してまいります。



地元産の食材を利用した「食彩人」パーティーも好評です

## 基本方針は次の四項目です

- (1) 生産者、消費者、農産物利用関係者が連携を深め、能代市で生産された農産物の利用や消費拡大を図ります。
  - ① 学校給食、保育所などの保健福祉施設での地場産農産物の利用促進
  - ② 飲食店、宿泊施設などにおける地場産農産物の利用促進
  - ③ 直売所、量販店、小売店の地場産農産物の販売促進
  - ④ 新しい需要の拡大
- (2) さまざまな情報提供や消費者生産者の交流を積極的に進めます。また、地産地消のPRのため、地産地消協力店を認証し、地産地消商品の開発などに支援します。
  - ① 農産物の生産状況、直売所情報、直売コーナーの情報提供
  - ② 消費者と生産者の交流
  - ③ 地産地消協力店の認証
  - ④ 地産地消商品づくりの推進
- (3) 地産地消を活かした産地づくりを進めるため、特産農産物の作付けや利用の拡大を推進するとともに、農業体験を通じて農業の理解を図ります。
  - ① 特産農産物の拡大、地元消費促進
  - ② 市民との交流
- (4) 持続性の高い環境保全型農業を推進し、消費者が求める安全安心な農産物生産を推進します。
  - ① 環境保全型農業の推進
  - ② 特別栽培農産物の栽培推進
  - ③ 環境に優しい農産物生産をPR



市民に愛される農産物づくりを  
河の流れ塾会長  
大塚 博益

今までわたしたち農業者は良いものを作っていたれば黙っていても消費者が分かって買ってくれると考え、生産に全力をかけてきました。

近年、農産物の価格が下がり、マーケティングの必要性を感じてくると、自らPRする事はもちろんですが、消費者が求める農産物、愛される農産物づくりが大切だと考えています。



地産地消の  
情報発信基地  
みょうが館会長  
佐々木恵子

みょうが館は、生産者と消費者が直接交流できる地産地消の情報発信の最前線だと思います。

これからはさらに一歩進めた交流を図るため、消費者と生産者へのアンケートなどを実施し、双方が求める交流の場としての役割を果たしていきたいと思えます。